



日本舞踊の体験教室

競技かるたの体験教室

能と狂言の体験教室

俳句の体験教室

剣舞の体験教室

煎茶道の体験教室



お箏の体験教室

将棋の体験教室

生け花の体験教室

大津市伝統文化親子教室事業の担当者にお話を伺いました

参加申し込みは1ヶ月前に締め切り、各教室が年齢層に合わせて構成を考えたりする時間を取っていただけているようにしています。



▲能と狂言、剣舞、日本舞踊で使用
する白たびを
貸し出し用で準備

■イベントを開催するにあたっての苦労などは
9つの教室の先生方に声を掛けて調整するのが大変でした。準備する物も考えて実際に教室が実施できるのか？どうかを考えました。今回は剣舞を入れましたが、剣で能舞台が傷つかないかななどの心配がありました。顔を昨年度のとは変えて、子ども達の興味を別の物にも広げてもらえる様に競技かるたや剣舞を追加しました。
90分1回だけの短い体験でまずここで『楽しかったな！またやってみたい』とできるだけ感じ取っていただけるように体験内容も初心者向けにしており、道具も基本的に手ぶらで来ていただいても貸し出しがあつて体験していただけるようにしています。

教室実施型の実績がない団体に参画を依頼した時は必ず教室実施型の内容をお知らせして使ってもらえるように案内しております。

教室実施型の実績がない団体に参画を依頼した時は必ず教室実施型の内容をお知らせして使ってもらえるように案内しております。

■参加募集について
紙媒体のチラシを市内の小中学校で配布したり、市のホームページに掲載しました。他にも大津市の公式LINEで配信したURLから申し込みサイトにアクセスできるようにしました。また、読者が多い大津市の広報誌「広報おおつ」に掲載しました。アンケートでは「広報おおつ」を見て参加された方が一番多いかと思ひます。
■教室はどのように選定されましたか？
まずはこの事業の趣旨を考慮して教室実施型で大津市を経由して申請をいただいている団体にお話をします。他にも昨年のイベント時のチラシを見ていただいたり、また市内の近江神宮が「かるたの聖地」と呼ばれているので、そこで活動されている競技かるたの団体をお願いしました。
すべての団体が教室実施型ではありませんので、選定する時に色々な配慮をして選定しております。



大津市 市民部
文化振興課
棚座 大介

■今後の展望について
市が携われるのは基本的にはきつかけ作りまでかなと思ひます。その後の継続性等は各団体に任せなければいけないので、その橋渡しが市としての役割と考えます。
習い事として月謝を払って続けていくのもひとつの道であるし、教室実施型の教室で半年度体験をしていただくのもひとつの方法です。『どちらもありますよ！』と紹介していきたいと思ひます。
続けていく内に担い手の先生方との関係が何とか作れてきたのかなと思ひます。

イベント内容

- 対象：小学生～中学生 及び
付き添いの保護者1名
会場：大津市伝統芸能会館
教室名：
●能と狂言をやってみよう
●親子俳句教室
●お箏を弾いてみよう
●剣舞体験教室
●煎茶道体験教室
●はじめてのこども将棋教室
●日本舞踊体験教室
●親子いけばな教室
●競技かるたをやってみよう
計9つの体験教室

※1人につき2教室まで体験可
(内：教室実施型団体：2団体
次年度の教室実施型申請中1団体)
教室参加者：全体で延べ 80人

概要

大津市は、2021年より継続して事業が採択されています。2025年2月には子どもたちが短時間で気軽に伝統文化を体験できる場として、教室実施型団体が2団体、次年度の教室実施型申請中の団体を含む9つの団体が体験教室を行うイベントを開催しました。



能舞台がある大津市伝統芸能会館

次年度の教室実施型申請中の団体も参画



指導対局風景

【1さん】小学4年生
将棋は何か知らなかった
ので1週間前に母と一緒
に将棋の勉強をして参加
しました。今日はルールと
次の動きなど難しかった
けど勝たせてもらえて
楽しかったです。続けて
いきたいと思ひます。



将棋の体験教室



公益社団法人
日本将棋連盟
大津支部長
三宅 英治

これまでは10年以上に渡り個人的に将棋の普及に努めておりましたが、昨年度より日本将棋連盟の大津支部として発足しましたので、子ども教室を将棋連盟として行う事になりました。次年度の伝統文化親子教室事業に申請を上げておりまして、これからも将棋の普及に努めたいと思ひます。

継続して採択されている地域展開型事業。
大津市伝統文化親子教室事業

親子いけばな教室活動風景



体験教室風景

先生の指導に従って、時間内で1つの作品を仕上げます。



体験教室風景



体験教室風景



体験教室風景

水盤、剣山、はさみは教室が準備し、参加者はふきん、新聞紙などを持参。お花代として参加費1,000円を徴収して教室を行います。

体験教室に参加された方にお話を伺いました



【Sさん親子】
小学2年生

生け花の仕方を教えてもらいたかったのが参加しました。これからはチャンスがあったらやってみようと思います。勉強になりました。ありがとうございました。



【Tさん】小学6年生

古い伝統文化が好きで参加しました。家では何も解らないので自分の好きなようにしたいけれど、今日ここにきたら「枝はこっちにやったら良いんだな」とかいうことが解ったので良かったです。これからは伝統文化に触れていきたいと思っています。



【Kさん親子】
小学6年生

色々な経験をしたいと思っていて、タイミングよく見かけたので参加しました。これからは色々な伝統文化を体験したいなと思っています。

連携した教室実施型の団体の方にお話を伺いました



大津伝統文化事業実行委員会
講師 堀川 靖霞

■体験イベントと教室の連携について
今後とも体験したいというお子さんがいるなら極力協力して、参画したいと考えております。

■伝統文化の継承について
まず、お花に親しんでいただき興味を持っていただくことから始めて、今は無くなってきた日本の伝統文化を伝えていきたいと思っています。

■嬉しかった事
年に一回発表会をするのですが、まったく関係のない観光客の方が子ども達の作品を見て「綺麗だね」とおっしゃっていただけたのが嬉しいことです。

■苦労することは
最近ライフスタイルが変わってきているので、和室(床の間)がなくなってお花を飾る場所がなくなってきたり、正座をすることがなくなっているなど、お花の生け方が変わってきているのが難しい所です。

■カリキュラムについて
普段は華道を中心としておじぎなどの礼儀作法を教えたり、季節感を取り入れながら生け花を教えています。

■主な告知活動について
基本的に各学校でチラシを配ってもらう募集をしています。

お箏を弾いてみよう活動風景



体験教室風景

箏一張りに1人の補助講師が付いて、2人の子どもを担当して体験してもらいます。



体験教室風景



体験教室風景

日本人に馴染み深い曲の『さくら』を練習して時間内に弾けるようにします。



体験教室風景

超初心者向けのテキストと印を付けた箏を準備。2人で一張りの箏を使用して、交代で練習します。



体験教室風景

講習を聞いていた保護者の方にもお箏を弾いて感触を楽しんでもらいました。

体験教室に参加された方にお話を伺いました



【Iさん親子】
小学1年生

今日は友人に誘ってもらって参加しました。ちょっと手が痛くて疲れたけど、弾いてみたので、とても楽しかったです。お母さんも喜んでいました。



【Iさん親子(真中はTさん)】

今年度は中学生もOKだったので、姉妹で申し込みました。伝統文化親子教室の事は全然知らなかったのが、機会が合えばそちらの方にも参加してみたいと思います。



【Tさん親子】
妹…小学2年生
姉…中学3年生

楽しい！めっちゃ面白かった！もっとやってみよう！姉参加して楽しかったです。

連携した教室実施型の団体の方にお話を伺いました



生田流正派
湖都美会
主催 福永 雅楽美津

■伝統文化親子教室について
1年に13回、15回の教室では専用テキストを使用して、何曲かをマスターして最後の発表会で披露するようにしています。

■これから展望
発表の場を多く設けて子ども達の意識を高め、すそ野を広げようと試行錯誤しております。

■体験イベントと教室の連携について
今回は何名かの保護者の方に興味を持っていただけて質問されましたので自分の教室についてご案内をいたしました。このような体験教室で興味をもったという時、すぐに伝統文化親子教室のご案内ができれば参加してもらえと思うのですが、期間が空いてしまいうるタイミングが合わずにここまで繋げられないのが残念です。

■主な告知活動について
学校などでチラシを配りますが、協力的な学校では先生から直接生徒さんに配っていただけるので、ただ置いてあるだけの学校よりも反応が良いです。